

分野	補完的な道路の整備			事業番号	86	事業名	県単道路改築				
市町村名	須坂市	ふりがな 箇所名	あいのしまたがやません (一)相之島高山線		ひたき 日滝	事業年度 (完了年度は見込み)	H24年度～	H28年度			
事業概要	計画概要 (延長・幅員・面積・工種など)	道路拡幅工 L=700m W=6.0(9.75)m				H23年度末事業進捗率	0%				
	H24年度以降実施内容	同上				本工事費等ベース	0%				
	H24年度実施内容	測量設計、用地測量 1式				用地補償費ベース	0%				
	年度	全体事業費	H22年度まで	H23年度	H24年度	H24年度以降残					
財源内訳	事業費計(千円)	300,000	0	0	8,000	300,000					
	国庫支出金	0	0	0	0	0					
	その他										
	県債	270,000			7,200	270,000					
一般財源	30,000			800	30,000						
箇所評価	観点	評価項目・指標等			評価			ランク	評点		
	(30)	必要性	計画交通量	4,000台/日以上	1,500台以上～4,000台/日未満	1,500台未満	B	4			
			代替道路	唯一の道路である	代替となる道路がある			0			
			ネットワーク (道路網)	バス路線である		B 駅やICなどに通じる または 役場と交通結節 点や支所などを結ぶ路 線		A及びBに該当しない	3		
				ボトルネック箇所		ボトルネック箇所でない			4		
		観光地に通じる道路		観光地に通じる道路ではない		2					
		各事業特有の必要性(安全の確保)	4.0m未満又は30m未満 又は8%以上(幅員、半 径、勾配)	4.0m以上5.5m未満(幅 員)	5.5m以上(幅員)		4				
			自動車と自転車・歩行 者との分離を図る	歩道はあるが不十分で あるものを再整備	自動車と自転車・歩行 者との分離がなされてい ない		4				
	他事業との関連	河川改修、新幹線、高 速道などの事業に関連 して実施				0					
	小計						21				
	(10)	重要性	設計上の環境・景観配慮	環境・景観配慮がされ 確実性が高い	環境・景観配慮がされて いるが確実性が低い	環境・景観配慮をしてい ない	B	3			
			地域の法的な位置付け	緊急輸送路(1次)に位 置付けられている	緊急輸送路(2次)又は、振興山村、積雪 地域、過疎地域、地震防災対策強化地 域、観光圏整備実施計画認定地域に位 置付けられている	特別な位置づけはない	3				
		小計						6			
	(20)	効率性	費用対効果	B/C(3便益)1.0以上	B/C(3便益)1.0未満 (3便益以外の観点から一 定の効果が得られる)	B/C(3便益)1.0未満	A	5			
			事業効果の早期発現 (H24以降事業年数)	事業年数 3年以内	事業年数 4年～5年以内	事業年数 6年以上	5				
			コスト削減	全体的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	部分的に構造物・規格等につ いてコスト削減を実施してい る。	コスト削減はしていない	7				
		小計						17			
	(20)	緊急性	安全性の向上	交通事故や落石等の危険 箇所の安全を向上させる	交通事故や落石等の危険箇 所指定はないが安全を向上さ せる	交通事故や落石等の危険が ない	A	10			
			各事業特有の緊急性(医療・福祉)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(ネック箇所の 解消)	医療・福祉の連携が発揮 できる道路(円滑化が図れ る)	医療・福祉の連携に関係 ない道路	10				
		小計						20			
	(20)	計画	地域からの要望	地域住民の内発的な要 望が強い	市町村からの要望	特に要望がない	A	7			
事業情報の共有			関係者以外に広く周知	関係者中心に周知	特に周知していない	5					
住民参加の状況		住民が計画策定に直接 参加	住民が計画策定に直接 参加	住民や市町村の意見を 計画策定に反映	特に住民意見は反映し ていない	4					
		小計						16			
費用対効果(B/C)		2.3		評価の合計			A	80			
事業周辺環境	事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	当路線は、須坂市と中野市を結ぶ広域幹線道路である(国)403号の東側に並行して走る道路であり、小布施町から要望の強い町中心部へ流入する交通量の転換、分散にあたり、そのバイパス機能を果たす路線である。また、当該区間南側交差点では、H21.11に死亡事故も発生しており、沿線住民等から安全対策について要望が挙げられている。									
	地域からの要望経緯	H21.11に当該区間南側交差点で死亡事故が発生し、沿線住民等から安全対策について要望が挙げられる。 H23に小布施町において、沿線住民を含めて構成されて協議組織から、小布施町中心部の交通量の転換が要望されている。									
	事業説明等の経緯	H23.9.22に関係市町村との打合せ会議を開催し、須坂市～中野市間の広域幹線機能の見直しに関する、具体的な検討の着手について周知。									
	環境・景観への配慮項目	構造物をできるだけ避けるよう検討。									
	他事業・プロジェクトとの関連	須坂市～中野市間の広域幹線機能の見直しに伴う。									
特記事項	須坂市役所と連携し、住民の意見を聞きながら計画策定していきたい。										
地域の合意形成	全員賛成	概ね賛成	過半数賛成	動向不明	その他						
部意見	生活道路としての安全確保を図るとともに、広域幹線機能の強化や、観光地へのアクセス機能の向上による地域産業の活性化に寄与する事業であため、H24年度から事業化をしたい。			政策評価課 見	緊急性が高い。						